

第140期技術講習所開講式が開催されました

第140期技術講習所開講式が10月11日（火）9：00より開催されました。

内藤教育委員長より開講の挨拶があり、2級ガソリン課程8名、3級自動車ガソリンエンジン課程15名、計23名が3月までの20日間にわたる自動車整備技能登録試験実技免除講習を受講することになりました。

受講生23名全員が本講習を無事修了出来るよう、お互いに努力していきたいと思います。

また、講習生を送り出している事業場につきましては、講習受講に対するご協力をお願いします。



= 業界情報 =

全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.130

【内容】バッテリー交換は必要だったのか

- ・車名：不明
- ・登録年：平成25年
- ・走行距離：5万km

中古車店で購入した車両にエンジンが始動しない不調が発生したため、ディーラーで故障診断をしてもらい、補器バッテリー不良と診断を受け、バッテリー交換を依頼、代金を支払った。部品在庫が無いため作業は後日とし、当該車両で帰宅した。その後2週間、問題なく走行できたので、受け取った診断書を改めて確認したところ、バッテリーセンサーやプラグ等が“良好”とあり、バッテリー関係には特に異常がないように感じられる。現状は走行できる状態であり、本当にバッテリーを交換する必要があるのか疑問を感じている。故障診断の結果、始動関連部品に異常がないことから、短絡的に“バッテリー不良”と診断されたのではないかと不信感を抱き、振興会に電話した。

【対応】

ディーラーのサービス部に確認したところ、お客様相談室にも相談履歴があるとのこと。対応した店舗の責任者と連絡をとり、診断の流れ等を改めて相談者と話をするよう対応することだった。その後、ディーラーサービス部から連絡があり、相談者と話し合い、納得いただいたとのことだった。

マツダ ボンゴ/タイタンダッシュ、日産 バネット、三菱 デリカ
プロペラシャフトのユニバーサル・ジョイント部の劣化および
エンジン（ミッショナ）・マウントの劣化点検のお願い
マツダ株式会社/日産自動車株式会社/三菱自動車工業株式会社

定量積載量を超える過積載での使用などにより、プロペラシャフトのユニバーサル・ジョイントや、エンジン（ミッショナ）・マウント部が劣化し、プロペラシャフトのガタツキが大きくなることで異音や振動が発生したり、そのままの状態で継続使用されるとプロペラシャフトが破損し脱落してミッショナが破損し、オイルが漏れ排気管にかかり火災に至おそれがあります。

1. プロペラシャフト点検時のお願い

ダイヤルゲージを使ってプロペラシャフトのユニバーサル・ジョイントの「ガタ」点検をお願いします。

■準備する道具

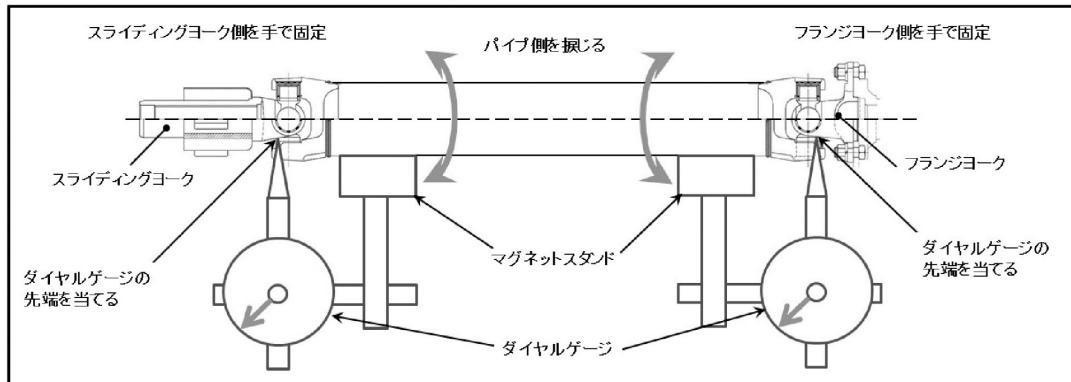
- ・マグネットスタンド
- ・ダイヤルゲージ

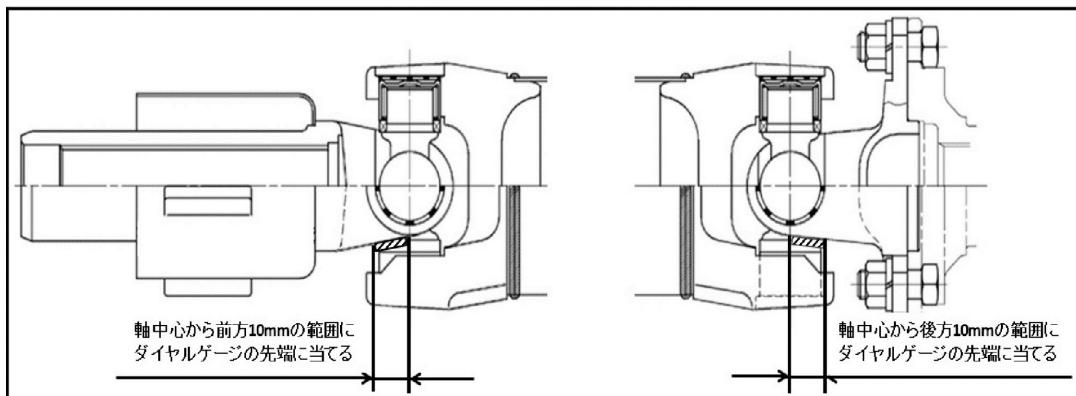
■ガタ点検手順及び注意事項

下記手順で、点検をお願いします。

- (1) ダイヤルゲージをセットしたマグネットスタンドをプロペラシャフトのパイプ側前寄り部分に固定する。
- (2) ダイヤルゲージの先端がスライディングヨークの側面に直角に当たるように調整する。
- (3) スライディングヨーク側を手で固定し、プロペラシャフトのパイプ部分を手で捩じって、ガタ量を計測する。
- (注意事項) プロペラシャフトに回転方向以外の力を加えたり、手で保持して固定しているスライディングヨーク（もしくはフランジヨーク）が回転方向に動いた場合、ダイヤルゲージの読み値が実際のガタよりも大きくなってしまいます。このため、点検作業に当たっては以下の2点を遵守下さい。
 - ①プロペラシャフトには回転方向以外の力を加えない。
 - ②ガタ計測時に手で保持するスライディングヨーク（もしくはフランジヨーク）は、回転方向に動かないよう固定する。
- (4) ガタ量が 0.20mm以上の場合は、プロペラシャフトを新品に交換する。
- (5) フランジヨーク側についてもスライディングヨーク側と同様の点検を実施する。

ダイヤルゲージを使ったジョイント部ガタ点検





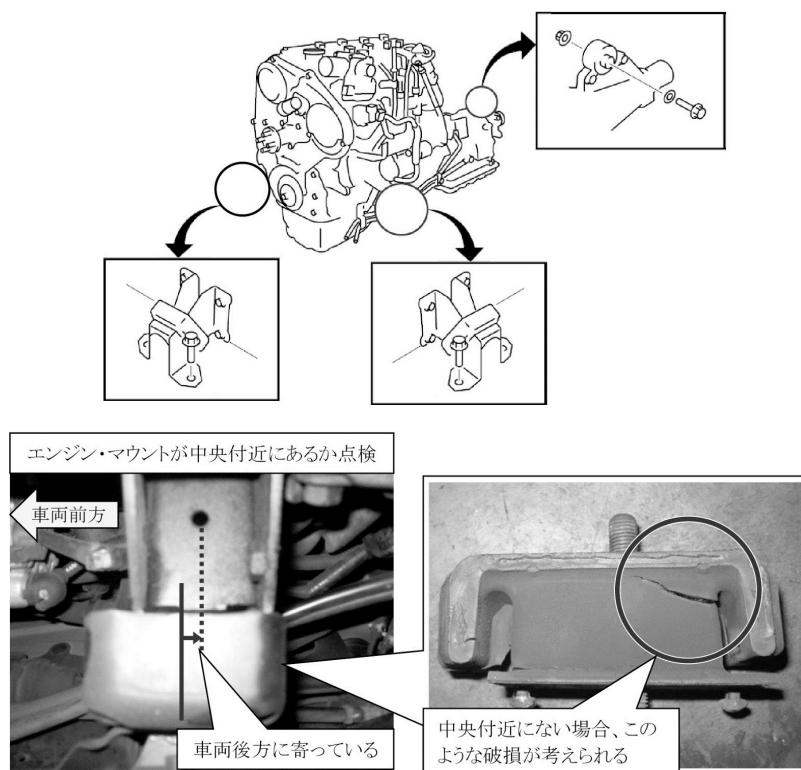
2. エンジン（ミッショ n）・マウント点検時のお願い

プロペラシャフトのユニバーサル・ジョイントの「ガタ」やキャップ部及びシール部に異常が認められる場合と、頻繁な重量物の運搬や走行距離が多い車両については、下記劣化状況の点検をお願いします。

①エンジン・マウントおよびミッショ n・マウントのラバー部の亀裂やへたりの有無を点検する。

②亀裂やへたりが認められる場合は、マウントを交換する。

（注意事項）マウントのラバー部に亀裂やへたりが発生すると、プロペラシャフトのユニバーサル・ジョイントに過大な負荷がかかり、破損の原因となります。



3. その他

プロペラシャフトには給脂タイプと無給脂タイプがあります。給脂タイプについては、ユニバーサル・ジョイント部に給脂口（グリースニップル）があり、メンテナンスノートに記載している点検整備項目に従い、走行距離 20 千 km 毎、あるいは 1 年毎のどちらか早い方でプロペラシャフトグリースを注入することも忘れずに実施するようにお願いします。

※プロペラシャフト指定油脂：汎用グリース、汎用 HG グリース（リチウム系）

グリース給脂後、あふれたグリースは必ず拭き取って下さい。

大型車の車輪脱落事故防止に係る令和4年度緊急対策の実施について

国土交通省より、標記、事故防止対策の積極的な取り組みについてのお願いがありましたので、お知らせします。

ISO方式ホイール取付け時のポイント

1 部品の点検と清掃

- 部品を点検し、以下のものは交換
- ナット：座金が固着、分離、ねじ山の損傷
 - ボルト：折れ※1、伸び、著しい錆、ねじ山の損傷
- ※1 折損している場合は、その車輪すべてのボルト、ナットを交換



部品取付け面、ネジ部を清掃する

ディスクホイール、ハブ、ボルト、ナットの
錆やゴミ、塗装などを取り除く。

2 ナット、ボルトへのオイル塗布

- ナットとボルトにエンジンオイルを塗布
- ナット：①ねじ部、②ナットと座金のすき間
 - ボルト：ねじ部
- ナットを数回まわし、ナットと座金のすき間
全体にオイルをなじませる。



3 ホイールの取付け

- ハブのはめ合い部にグリースを薄く塗布
してください。
- ホイール取付けの際は
ボルトのねじ部を傷つけないよう注意し、
ホイールをハブの奥まで押し込んでください。



4 ナットの締付け

- ナットを手で回しホイールに着座する事を確認し、
かじった場合、ボルトとナットを交換
してください。
- 仮締め後トルクレンチを使用して
規定のトルクで締付けてください。

規定トルク：550～600 N·m

注意

仮締め、本締めともに対角線順に締付けて
ください。



5 ナットの増し締め

- タイヤ取付け後 50～100 km走行後を目安に、再度規定トルクで増し締めしてください。

日常点検で確認すること

①目で見て確認

- ナットが浮いてないか？
- ナット、ボルトは付いているか？
- ホイールに亀裂がないか？

②点検ハンマーで確認

- ナットに指をそえて叩く
⇒振動・音が他と違うと
緩みの恐れ



一般社団法人 日本自動車工業会

いすゞ自動車（株）／日野自動車（株）／三菱ふそうトラック・バス（株）／UD トラックス（株）

車検・定期点検割引クーポンの精算について

「点検整備推進Webキャンペーン」（令和3年10月）で行われたクイズの賞品として下記の「車検・定期点検割引クーポン（5,000円割引券）」を50名の当選された皆様に送付しました。**（有効期限が令和4年11月30日と迫っております。）**

この割引クーポンは、車検・定期点検及び一般整備（オイル交換等）時の料金割引クーポンとなります。

ご利用がありましたらクーポン券裏面の記載内容をご確認の上、料金の精算にご協力をよろしくお願いします。

割引クーポン表



割引クーポン裏

お客様へ

- AMSマークの当会会員工場で、この割引券をご利用下さい。
- AMSマークの工場は、ホームページでご確認下さい。
- 本券の有効期限は、令和4年11月30日とします。
- 車検・定期点検料金から5,000円を割引します。
- この割引券は、現金とのお引き換え及び釣り銭のお返しはしません。
- この割引券の盗難、紛失に対して、その責は負いません。
- ご記入頂いた個人情報は當会にて適切に管理し、その他の目的には使用致しません。
- 本券は1回の使用に1枚です。
- また複数枚の場合は使用できません。

HP QR

実施された自動車整備工場へ

- 割引券の利用があった場合は、請求金額から5,000円(税込)を割引して下さい。
- 下記の必要事項をご記入の上、振興会に割引券を持参し精算して下さい。
- 精算の期限は令和4年12月28日までとします。

〈工場記入欄〉

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| <input type="radio"/> お客様のお名前 | <input type="radio"/> 認証番号
8- |
| <input type="radio"/> 車両番号 | <input type="radio"/> 実施工場名 |



車検・点検整備は
AMS看板の県下整備工場へ

(一社)山梨県自動車整備振興会
笛吹市石和町唐柏790(TEL055-262-4422)

今月の配布物について

○「大型車の車輪脱落事故防止啓発用ポスターの配布」について

「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る啓発活動連絡会」では、ここ数年連続して大型車の車輪脱落事故件数が増加している現状を鑑み、大型車のドライバー等に適正な車輪脱着作業の再徹底及び一定走行後の増し締め、日常点検の確実な実施等を啓発するため、ポスターを作成しました。

会員の皆様に配布しますので、各事業場におかれましても掲示してご活用下さい。



= 統 計 =

普通車・軽自動車継続検査件数

9月

合計		指 定					持込込み				
		保 適		OSS		指定割合(%)	認 証		ユーチャー		持込割合(%)
		件数	割合(%)	件数	割合(%)		件数	割合(%)	件数	割合(%)	
普通車	16,219	4,446	27.4%	6,880	42.4%	69.8%	3,898	24.0%	995	6.1%	30.2%
昨年同月	15,546	5,054	32.5%	6,011	38.7%	71.2%	3,544	22.8%	937	6.0%	28.8%
昨年同月増減	673	-608		869			354		58		
軽自動車	11,763	2,975	25.3%	4,069	34.6%	59.9%	3,782	32.2%	937	8.0%	40.1%
昨年同月	11,495	3,548	30.9%	3,457	30.1%	60.9%	3,558	31.0%	932	8.1%	39.1%
昨年同月増減	268	-573		612			224		5		
合 計	27,982	7,421	26.5%	10,949	39.1%	65.6%	7,680	27.4%	1,932	6.9%	34.4%
昨年同月	27,041	8,602	31.8%	9,468		66.8%	7,102	26.3%	1,869	6.9%	33.2%
昨年同月増減	941	-1,181		1,481			578		63		